

平成 18 年度当初予算 重点プログラム別概要

元気 2 : 中高年者雇用・安定プログラム

(主担当部局 : 生活部)

- (1) 短期職場実践訓練事業
- (2) キャリアカウンセリング事業
- (3) 求職者資格取得サポート事業
- (4) 地域雇用対策推進サポート事業
- (5) ライフ・ワークサポート三重推進事業

< プログラムの事業費 >

(単位 : 千円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	216,846	209,000	209,000	635,000 程度
見直し後	126,459	98,490	97,269	322,218

注 : 「見直し後」の 16 年度は決算額、17 年度は予算現額、18 年度は予算要求額

< 事業目標 >

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 訓練受講者数の就職率	目標値	75 %	83 %	85 %
	実績値	82.3 %	83 %	
(2) 受講者の就職率	目標値	40 %	45 %	50 %
	実績値	44 %	45 %	
(3) 資格取得者の就職率	目標値	60 %	70 %	75 %
	実績値	50 %	73 %	
(4) 各地域単位で実施する事業数 (累計)	目標値	10 事業	12 事業	15 事業
	実績値	10 事業	12 事業	
(5) 啓発・研修への参加事業所数	目標値	1,000 事業所	1,000 事業所	1,000 事業所
	実績値	922 事業所	1,000 事業所	

注 : 17 年度実績値は 11 月末現在の見込み値

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・中高年の円滑な再就職を図るため、短期的な職場実践訓練、キャリアカウンセリング、就職に有利な資格等の取得支援などを実施するとともに、国の支援制度も活用しながら各地域の実情に応じた雇用対策を関係機関との連携・協働により推進してきた結果、雇用情勢は全体として改善傾向にあります。
- ・しかしながら、県内北部地域では、有効求人倍率が 1 倍を超えているものの、求人・求職のミスマッチが生じているのに対し、南部地域では雇用機会が不足しているなど、地域ごとに雇用情勢が異なっていることから、引き続き、それぞれの地域の雇用情勢に応じた対策を講じていく必要があります。

<平成18年度の取組方向>

- ・中高年者の早期の再就職を支援するため、従業員を募集中の企業において短期間実際の仕事に従事することを通じて当該企業への就職につないでいく訓練事業や円滑な就職活動を支援するためのセミナー及びキャリアカウンセリングの実施、再就職に有利となる免許・資格取得への助成などを引き続き進めていきます。
- ・さらに、各地域の実情に応じた効果的な雇用対策事業を地域の関係機関・団体等との協働により構築・推進していくとともに、きめ細かな労働・生活相談や、就労者の立場に立った雇用環境づくりの促進などに引き続き取り組みます。

<主な予算要求事業>

短期職場実践訓練事業【18年度事業費 19,890千円】

雇用保険失業給付を受給していない失業者が、従業員を募集中の県内企業等において短期間に実際の仕事の訓練を受けることにより早期に就職できるよう支援を行います。

地域雇用対策推進サポート事業【18年度事業費 18,683千円】

県を北部、中部、南部に分け、それぞれの地域において、市町、関係機関・団体等との連携による地域の課題・実情に応じた雇用対策を展開する体制を中心に、効果的な取組を構築・推進します。

ライフ・ワークサポート三重推進事業【18年度事業費 19,232千円】

就労者の立場に立った雇用環境づくりのため、事業者等を対象とした啓発・研修の推進及び企業診断（労使コミュニケーション診断）の企業における実施促進とともに、県の労働・生活相談窓口「ライフ・ワークサポート三重」について、機能の充実を図りながら運営します。